

回復期 リハビリテーション病棟 ご案内

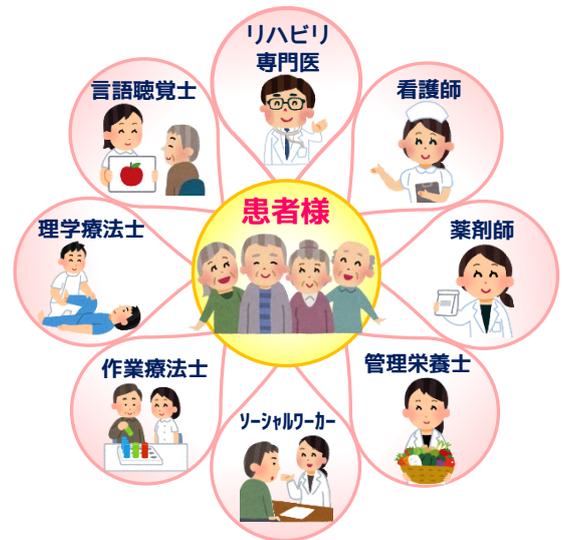


地方独立行政法人さんむ医療センター

回復期リハビリテーション病棟とは

脳血管疾患や骨折により、身体機能障害を有する方に対して、日常生活動作能力の向上を図り、家庭復帰、社会復帰、寝たきり予防を目指す病棟です。

医師、薬剤師、看護師、療法士、ソーシャルワーカー、管理栄養士などの専門職が密に連携して、病棟運営を行います。



対象

脳血管疾患や骨折など（下記詳細）の急性期加療後、機能障害を有してはいるが、集中的にリハビリを行えば、日常生活動作能力の大幅な向上が見込める方が対象となります。

たとえ、下記のような病名の方であっても、リハビリによる一定の負荷に耐えられない全身状態の方や著しい認知機能低下のためリハビリに取り組む意欲に乏しい方は対象とはなりません。

◆対象疾患および入棟条件◆

	状 態	条 件
1	脳血管疾患、脊髄損傷、頭部外傷、くも膜下出血のシャント手術後、脳腫瘍、脳炎、急性脳症、脊髄炎、多発性神経炎、多発性硬化症、腕神経叢損傷等の発症後もしくは手術後の状態 または義肢装着訓練を要する状態	発症後 または 手術後2ヶ月 以内 左記の状態
2	大腿骨、骨盤、脊椎、股関節もしくは膝関節の骨折または2肢以上の多発骨折の発症後または手術後の状態	発症後 または 手術後2ヶ月 以内
3	外科手術または肺炎等の治療時の安静により廃用症候群を有しており、手術後または発症後の状態	手術後 または 発症後2ヶ月 以内
4	大腿骨、骨盤、脊椎、股関節または膝関節の神経、筋または靭帯損傷後の状態	損傷後1ヶ月 以内
5	股関節または膝関節の置換術後の状態	損傷後1ヶ月 以内

具体的にどんなことをするの？

- 1日に2～3時間のリハビリを行います。
具体的には、関節可動域拡大練習、筋力練習、歩行練習、日常生活動作練習（整容、更衣、トイレ動作など）、摂食嚥下訓練、構音練習、脳機能向上練習（コミュニケーション能力、記憶力、注意力など）です。
 - 病棟での日常生活もリハビリの一環となります。
急性期病棟とは違い、できることはあえてお手伝いをせず、ご自分でしていただきます。この繰り返しがりハビリそのものとなります。
- ❖ 食事はホールへ行き、口から食べていただく取り組みを推進します。
 - ❖ 洗面は洗面所で朝夕、口腔ケアは毎食後の実施を支援します。
 - ❖ 排泄はトイレで行い、オムツは極力使用しないよう支援します。
 - ❖ 入浴は週2回、なるべく浴槽に入れるよう支援します。
 - ❖ 日中は普段着で過ごし、着替えは朝夕行えるよう支援します。



**“できることを増やす”ための
サポートをします**



回復期リハビリ病棟の入棟からの流れ

入棟前面談

ご家族（ご本人）の希望を伺い、発症前の生活状況や自宅環境などの情報を提供していただき、おおまかなリハビリ計画を提示します。



入 棟

初期評価とリハビリ計画を立てます。
（ゴールと達成に要する入院期間など）

リハビリ計画に沿って、リハビリを行います。

合同 カンファレンス

リハビリスタッフによる現状説明と自宅復帰への準備を始めます。

介助方法の指導や
（必要に応じて）住宅改修などの
アドバイスをを行います。



試験 外泊・外出

退院までの不安の解消や問題点を確認します。

退院前指導
（退院後の自主トレーニング指導、訪問リハビリなどの
サービス紹介）

退 院



毎日の生活はどんな感じ？

6:00

起床、顔を洗う、服を着替える
などの朝の身支度



1日の流れを作るためには朝しっかりと起きましょう。

7:30

朝食、食後の歯磨き、トイレ

ベッドは寝る場所です。
食事はベッドから離れて食堂で
摂ります。



午前 リハビリ



リハビリプログラムの内容は
1人1人の目標によって異なります。
担当のリハビリスタッフとたくさん話し
合ってください！

12:00

昼食、食後の歯磨き、トイレ

午後 リハビリ

体力をつけるため、リハビリ以外の
時間も起きて活動する習慣を
つけましょう。



18:00

夕食後の歯磨き、トイレ、着替えをして
寝る準備

21:00

消灯

その他

- ❖ 入院費、見学等についてのお問い合わせは下記の代表電話番号から地域医療連携室へご連絡ください。
- ❖ 入院時に必要なもの、手続き、退院後のこと等については面接時にご説明いたします。



地方独立行政法人

さんむ医療センター

〒289-1326 千葉県山武市成東 167

TEL:0475-82-2521(代)

FAX:0475-82-3235(代)

<http://www.sanmu-mc.jp/>